



編集・発行 青谷町総合支所 地域振興課 鳥取市青谷町青谷667
 〒689 0592 ☎0857 85 0011 ☎0857 85 1049
 電子メール ao-chiiki@city.tottori.tottori.jp

支所などへの直通電話

地域振興課 ☎85-0011	市民生活課 ☎85-0013
福祉保健課 ☎85-0012	産業建設課 ☎85-0015
教育委員会分室 ☎85-0014	水道局営業所 ☎85-2526
西車両センター ☎85-0016	中央公民館 ☎85-1141
給食センター ☎85-0309	すくすく保育園 ☎85-0430
あおや郷土館 ☎85-2351	青谷上寺地遺跡展示館 ☎85-0841
あおや和紙工房 ☎86-6060	

新「青谷小学校」がスタート



校章 最優秀賞

小谷 陽一さん
 (鳥取市緑ヶ丘)

桜の花も咲き始め、児童たちの気持ちも新たに、4月から1小学校2校舎で新青谷小学校がスタートしました。
 新青谷小学校の夢と希望が持てるシンボルとして、新しい校章と校歌を公募したところ、県内外から校章139点、校歌21点の応募をいただき、青谷地域の夢を大きくむ学舎に最もふさわしい校章と校歌を決定しました。なお、作曲は道谷増夫さん(青谷町長和瀬出身)です。

校歌 最優秀賞

大寺 龍雄さん
 (鳥取市青谷町)

<p>三 青澄む空の きらめきに やりぬく強さ 胸はずみ 見開く瞳 駆ける夢 遥かな宇宙が 見えてくる 希望の 青谷小学校</p>	<p>二 大海原の 八重波に 思いを重ね 支え合い 伸びてゆく水脈 沖の雲 豊かな世界が 待っている 希望の 青谷小学校</p>	<p>一 勝部日置の 瀬の音に 心寄せ合い 手をつなぎ 湧き起る歌 薫る風 輝く明日を 目差しゆく 希望の 青谷小学校</p>
--	---	--

次ページへ続く

校章デザイン 最優秀賞

【図案説明】

青の文字を子どもたちの姿にし、元気よくのびのびと未来に向かって羽ばたいていく姿をデザインしました。カラーは青い海のブルーと山のグリーンです。

【選定理由】

一部二部の最優秀賞の中から校章として決定したデザインは、青谷小学校の「青」を子どものイメージに置き換え、元気よくのびのびと未来に向かって羽

校歌(歌詞) 最優秀賞

【作詞意図】

勝部川は大きな支流に日置川を、そして小さな支流に山田川・蔵内川など、いくつも集めて流れます。ひびきながら、歌うような薫るようなこの流れを、町内から集まり手をつないで、輝く明日を目差す子どもたちの姿として、一番としました。

川は海に注ぎます。幾重にも立つ波は力を合わせ支え合い目的に向かって試みを繰り返す子どもたちの姿です。海は国々につながり、子どもたちの活躍は平和で豊かな世界を作るためにと、心を一番としました。

水はやがて循環し、空に還ります。きらめく青空は伸びてゆく勇氣と強さを与えてくれる力を持っています。視線をしっかりと大空に向け、更に広い宇宙を見据えて進むよう願って、一番としました。

希望に溢れる学校となるように、心からの祈りを籠めました。

ばたく姿を表現し、それを包むように青谷町の豊かな自然「山と川」を単純化し組み合わせています。基調となる色は、日本海を表す青い海のブルーと、青谷町を取り巻く山々を淡いグリーンで表し、爽やかなイメージが伝わってきます。

今回選ばれた作品は、校訓である「明日に向かい、思いをつなぎ、やりぬく強さ」のイメージがよく表れていることや形の中に躍動感が表れていること等が最終的に審査の決め手になりました。

以上のような理由で、青谷小学校の校章に最もふさわしいと考え最優秀賞に決定しました。

【選定理由】

ふるさと青谷町から、青い海を通して世界各国に、さらには、遙か宇宙へと、水の一生(循環)のごとく、とんとん世界が広がり、夢や希望が膨らんでいく歌詞です。青い谷、青谷町のイメージカラーの青を基調に、色鮮やかで雄大な情景が描かれ、青谷小学校がめざす教育理念が、校訓の言葉と重ね合わせて格調高く表現されています。

二十一世紀を担う子どもたちの育ちゆく姿やめざすべき未来が高らかに謳われているので、子どもたちに元氣と勇氣を与えてくれることでしょう。今後何十年歌い継がれても色あせない内容だと思えます。

一番から三番まで、一貫しているテーマは、「希望」。希望こそが、子どもたちを限りない可能性へと導き、未来を拓くエネルギーとなります。作者の、青谷小学校の子どもたちへの大きな愛情が伝わってきました。

以上のような理由で、青谷小学校の校歌に最もふさわしいと考え、最優秀賞に決定しました。

校章デザイン 入選作品

第1部(小学生の部)

最優秀賞



青谷小学校5年
奥谷 健悟

優秀賞



勝部小学校4年
北村 香菜

優秀賞



日置谷小学校5年
今西 一音

第2部(一般の部)

優秀賞



工藤 和久
(青森県弘前市)

優秀賞



能勢 亜由美
(鳥取市青谷町)

校歌(歌詞) 入選作品

佳作

三上 秋次
(日野郡日野町)

佳作

池田 寿則
(鳥取市青谷町)

優秀賞

野際 昇 (鳥取市若葉台)

一 あすに向かい 鉢伏の
おおぞら緑 かがやいて
望みもたかく 学びゆく
さあ 生まれてくるよ
清い風 青谷小学校

二 おもいをつなぎ 弥生びと
太古のれきし ふるさとの
未来をひらく こころいき
さあ 聞こえてくるよ
若い風 青谷小学校

三 やりぬく強さ 井手ヶ浜
鳴り砂さやか 波よせて
はるかな歩み 誓いつつ
さあ はずんでゆくよ
熱い風 青谷小学校

一 青谷 青空 白い雲
光あふれる 我が母校
輝く生命 はつらつと
あすに向かってかけてゆく
我らの 青谷小学校

二 青谷 上寺地 夢のあと
和紙すきあげた手のぬくみ
歴史を胸に 学びつつ
おもいをつなぎ いつまでも
我らの 青谷小学校

三 青谷 潮風 日本海
声湧きあがる 学び舎に
心を見がき 身をきたえ
やりぬく強さ 我が力
我らの 青谷小学校

一 弥生の里の 学び舎で
はるかな 生命想いつつ
夢と 希望に 輝いて
明日に向かって ははたこう
われらが育つ 青谷小(青谷小学校)

二 豊かな自然の ふるさとで
めぐる山なみ あおきつつ
仲良く 清く 助け合い
思いをつなぎ 伝えよう
われらが育つ 青谷小(青谷小学校)

三 希望に満ちた この集い
伸びる力を 信じつつ
心と身体を すこやかに
やりぬく強さ はくもつ
われらが伸びる 青谷小(青谷小学校)

(敬称略)

青谷地域審議会委員 が決まりました

2年間、お世話になります。
(任期:平成19年4月1日~平成21年3月31日)

	氏名	選出区分
1	房 安 一 也	1号
2	前 家 直 樹	2号
3	遠 藤 通	2号
4	亀 谷 勝 彦	2号
5	佐々木 紀久子	3号
6	藤 原 光 孝	3号
7	尾 崎 昭 雄	4号
8	宮 尾 由紀子	4号
9	瀧 洋 子	4号
10	中 原 義 喜	5号
11	中 前 田 保 幸	5号
12	大 谷 操	5号
13	広 富 美 鈴	6号
14	芦 川 浩 史	6号
15	高 橋 克 己	6号

1号: 自治会等の役員の職にある者。
2号: 農林水産業及商工業の団体に属する者。
3号: 青年、女性、高齢者を構成する組織に属する者。
4号: 社会福祉に関係する者。
5号: 学識経験を有する者。
6号: 公募により選任された者。

(敬称略)

まちの話題

大きくなって 帰っておいで

3月9日(金)、日置小学校の全校児童と全教職員が、山根地内の魚道付近でサケの稚魚を放流しました。昨年12月の初旬に天神川漁協から分けていただいたサケの卵を日置小学校で育て、約3か月で体長7センチ位の稚魚に成長しました。およそ五〇〇匹の稚魚を放流するときには少し寂しそうな顔をする児童もいましたが、元気に泳ぎ出す姿を見てほっとする児童もいました。

「いつてらつしやい」「帰ってこいよ」と声をかけながら、これから様々な荒波にもまれて成長していくサケに、自分の姿を重ね合わせていたのかもしれない。4年後に帰ってくるサケとの再会を楽しみに、日置川を後にしました。



サケの稚魚を放流する児童たち

国際理解講座開催

3月3日(日)あおや和紙工房多目的研修室で、国際理解講座・一緒に作って一緒に話そうが青谷町国際交流協会の主催で開催されました。

これは鳥取市青谷町国際交流協会が、地域の人に国際感覚を身に付けてもらおうと毎年計画しているもので、今年度は、鳥取市の国際交流員パトリック・ルムラーさん(ドイツ)、林智恩さん(韓国)、傅秀娟さん(中国)を迎え、25人の参加者と一緒に和紙の花を作っていました。

また、それぞれの国の



茶話会の様子

お菓子をいただきながらの茶話会では、今年任期を終えて帰国される3人の交流員から、日本に興味を持ったこと、鳥取に来て感じたこと、国際交流員としての仕事を終え思ったことなど話していた。きながら交流しました。和やかな雰囲気の中で異文化に触れた楽しい一日となりました。

花でまちを美しくします

3月9日(金)に青谷地区を美しくする会(会長 泉 則男さん)のみなさんが、青谷駅の階段・老人福祉センター・特別養護老人ホームなりすなど、青谷町内の福祉施設や公共施設に、ピオラ・パンジーなど5種類の花の苗を植えたプランターやポットを設置しました。

この活動は、今年度の新規事業として開始した、地域の活性化のため、住民との協働を基本とした、地域の特性を活かした地域づくりに取り組む合併地域活性化推進事業の一つです。



花の苗の移植作業



青谷駅階段のプランターとポット

今後、花の種まき・栽培・水やり・花づくりの研修をとおしてプランターの数を増やしたり、河川の草刈などの清掃活動にも取り組み、「美しい河川と四季の花に囲まれた青谷町を育てる」をテーマに活動していきます。

